

# ArteKodomotoKi

社会福祉法人 種の会 アルテ子どもと木幼保園

〒164-0001 中野区中野1-59-5

Tel 03-3365-0602

ホームページ URL <http://www.tanenokai.jp/>

2022.

えんだより

3





## お知らせ

• 新年度への移行は3/14より行います。ご不明な点等ございましたら、お気軽にご質問下さい。

• 卒園式について

感染対策をして実施する予定です。詳細は後日、5歳児クラスにお知らせいたします。

卒園式終了後、5歳児の生活発表会を行います。

• 次年度の主な行事予定（詳細は4月に配布する行事予定表でご確認ください）

○保護者会 5月17日～19日   ○ファミリーデー 5/28（土）   ○引き取り訓練 9/1（木）

○運動会 10/8（土）   ○アート展 12/3（土）   ○保護者会 1月24日～26日

○生活発表会 2/18（土）   ○卒園式 3/10（金）

• 門の暗証番号について

4月1日から新しい番号になります。3月31日に一斉メールにてお知らせいたします。

March 3 2022						
sun	mon	tue	wed	thu	fri	sat
		1	2 音楽あそび	3 ひなまつり 0歳児健診	4	5
6	7	8 発育測定 運動あそび	9 音楽あそび	10	11 卒園式 5歳生活発表会	12
13	14	15	16 音楽あそび	17 運動あそび	18 お別れ遠足	19
20	21 春分の日	22	23 音楽あそび	24 運動あそび	25 誕生会	26
27	28 避難訓練	29	30 音楽あそび 0歳児健診	31 運動あそび		



## *Happening Accident Trouble*の先に



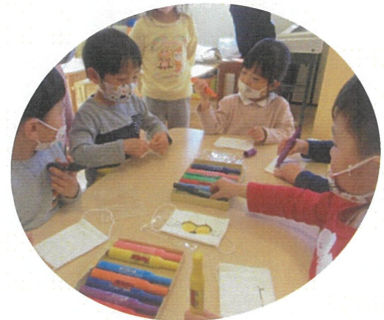
園長 山田寿江

**Happening、Accident、Trouble**があっても力を合わせ幸せいっぱい園をつくろうと、法人最初の園が、阪神・淡路大震災後の神戸HAT（Happy Active Townの頭文字）地区に設立して20年が経ちました。間もなく卒園を迎える5さいナノ組の子ども達、どんな困難にあう時も仲間と共に立ち向かう力を携えて巣立って欲しいと願っています。

コロナ禍、不測の事態に焦燥感が募ることも多かったように思います。子ども達と保護者の方々に支えられてきたこの一年、みなさまのご理解とご協力に心から感謝申し上げます。

想定外のことに戸惑い苦慮することもあります。子ども達は、どんな時も楽しみを見出す力を持っています。生きるたくましさ子どもから教えられます。

マスクの着用はわずらわしさも感じますが、3さいナノ組で生活発表会前日のリハーサルの時、役柄の動物の口元をマスクに描いて着用してはどうかと担任から提案がありました。園のマスクに自分で描いて何だか楽しげ。「ステキな口ね」と声を掛けると意気揚々とやる気満々の表情でした。



### 教育の主役はそれぞれの子ども

学びの原動力は“やりたい！”です。「もっとやってみたい」は、夢中になることで「できる」となり、「できた」が自信になります。「やりなさい」と言われなくても自分で考えて動くようになる、意欲があれば子どもは自分で伸びていくのです。

ポイントは“この子はどうなりたいのだろうか？”と考えること。こうなって欲しいと大人の願いを押し付けるのではなく、子どもの願いを全力でサポートします。子育ての面白さにつながるかもしれません。保育者の探求心と保育の醍醐味もここに 있습니다。

コミュニケーション力が求められる時代ですが、一人じっくり取り組むことが得意な人もいます。それぞれ凸凹があって当たり前、自分らしく学ぶことが教育の本質ではないでしょうか。

乳幼児期は興味あることや好奇心から動くことが多くアクティブラーニング（主体的な学び）が日常です。「何を学ぶか」より「どう学ぶか」、学校教育も主体的な体験学習や問題解決に向けた学びに舵をきっています。実体験を通して脳のOSが置き換わっていくイメージです。

映画『夢みる小学校』に登場する「きのくに子どもの村学園」は、宿題もテストもなく、先生もいません。「プロジェクト」と呼ばれる体験学習を通して学びます。スタッフは、「楽しくなければ、学校じゃない」と口を揃え、子どもがみなキラキラしています。

日本の子ども達は質問をするのが苦手なのだから。「不思議！」「何でなんだろう？」「もっと知りたい」そうした興味や関心が「問う力」の原動力となっていくようです。

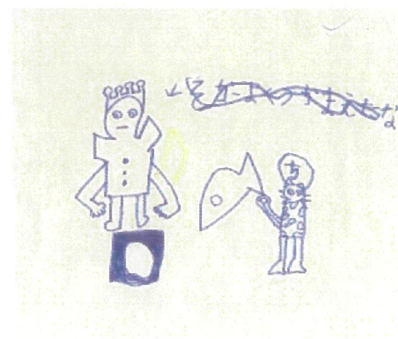
## 【失敗をチャンスに】

5オナノ組さんとも残り1ヶ月となりました。初めて会ったのは3才の時でした。なかなかの個性派が揃っているクラスで、手を焼くこともありましたが、面白い発言や行動ができる子ども達です。好奇心も旺盛でしたので、私が見つけた青虫を取り合うように観察していました。「青虫さんは、本当は葉っぱじゃなくてチョコレートが好きなんだよ」エリックカールの青虫の世界観を重ねて、たくさんの作品も作りました。私の姿を見ると「先生、今日〇〇作りたい！」とワクワクすることを投げかけてくれる子ども達でした。

先日、いつもと少し違う藁半紙のような素材の紙を持っていきました。子ども達はすぐに気がついて集まってきました。Cさんが合奏の絵を描き始めると、僕も私もと紙を受け取って描き始めました。すぐにAくんとBくんが「先生、失敗しちゃったよー」と言いました。

「失敗したと思うところを新しい絵に出来ないか考えてごらん。もっと面白い絵になるかもしれないよ。失敗はねチャンスなんだよ。」と私は言い、その場から去りました。

しばらくして、再び5歳児室に行くと、Aくんが飛んできて「先生、出来たよ！」と嬉しそうに話します。先ほど失敗したと言っていた部分をうまく利用した絵が描かれていました。「セリフも書いたけど失敗したんだ。でもね、線で消したから、これでいいんだ」と失敗したことをクヨクヨする姿はもうありませんでした。



今度はBくんがやってきました。「先生、やっぱり出来なかった。」と目を潤ませています。どこが気に入らないのか詳しく話を聞いて、私が思うBくんの絵の素敵な部分を伝えてから、新しい紙をあげました。

この場合、Aくんだけが失敗をチャンスに変えることが出来て、Bくんは出来なかったように思われるかもしれませんが、でもBくんは思うように描けなかったから新しい紙で描き直したいということを伝えにすることが出来ました。困ったときに“助けて下さい”と大人に伝える力をつけているのです。自分の思いを人に伝えること、やってみてダメだったら違う方法にシフトチェンジすることも大切な力です。もうすぐ5オナノ組さんとサヨナラだけれど、これならみんな大丈夫そうだなと少し安心したシーンでした。

表紙の絵はCさんが描いた合奏の絵です。丁寧に描いていると感心したのは、キーボードと木琴や鉄琴です。実際に鍵盤や音板にはドレミファソと書いてあります。本当はマスクをして練習していますが、この絵の子ども達は笑顔が見えている点も嬉しくなりました。

主任：黒木

※今月の園だよりは一年の振り返りをテーマにしています。

# ato 0

“みんなこんなに大きくなりました”

入園当初は、パパやママと離れることが不安で泣いていた子ども達。お座りもできなかつたり、まだハイハイで移動したりしていました。それが1年経った今、目覚しく成長。全員、靴を履いて歩けるようになり、園庭で遊んだりお散歩に行ったり……。

たくさん歩いて探索に夢中です。草花や虫に触れてみたり、トンネルをのそいてみたり、砂場ではシャベルを片手に遊んだりもするようになりました。みんな元気いっぱい体を動かして思い思いに楽しんでいます。



“保育園で楽しく遊んでいるよ”

ブロックを高く積んで、笑顔を浮かべるAちゃん。できることがいっぱい増えて嬉しいですね。友達との関わりもたくさん見られるようになりました。“どうぞ”“どうも”も上手にできるようになってきましたよ。

OBOX を部屋に置くと戸惑うことなく喜んでくぐり始める子ども達。上っては顔を出しこの表情！可愛いですね。楽しくて何度も何度も繰り返して遊んでいました。途中でばったり会うと顔を見合わせて笑い合う微笑ましい光景も見られましたよ。



子ども達の日々の成長を間近で見ることができ、とても嬉しく思っています。

1歳アト組さんでは、どんな姿を見せてくれるのか楽しみですね。

1年間、本当にどうもありがとうございました。

# ato 1

## 大好き仲間

“言葉”と“友達”。2つの世界がこの1年で大きく広がりました。自分の気持ちを言葉で伝えるようになり、友達と一緒に楽しいことを共有して笑い合ったり、時には思いっきりけんかもしたりしました。喜怒哀楽、色々な感情で友達と関わり合って向き合って、関係性が深まっていきました。

「パパ～～」と大泣きしながら登園し、なかなか涙が止まらないHさん。

保育者がHさんの元を少し離れて戻って来ると…、OさんがHさんの手を握り、もう片方の手で優しく頬を撫でたり鼻水を拭いてあげたりしていました。Hさん、安心したようで涙はすっかり止まっていました。

このふたりが一緒にあそぶことはどちらかと言えば少ない方で、でも世話好きのOさんが食事の時間に隣になると「ここ座って!」「ちょっと鼻、出てるよ」などとHさんのことをよく気にかけていました。ささいなことですが、そんな時間の積み重ねがふたりの信頼関係を築いたりお互いにとっての安心感を育んだりしてきたのだと感じる心温まる瞬間でした。



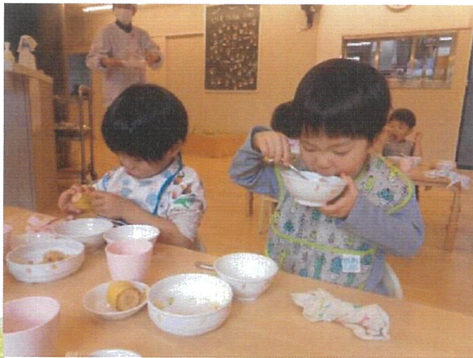
やっぱり友達っていいね! という場面は日に日に増えていく一方で……。トイレに行くのも保育者に誘われるよりも断然友達に誘われて一緒に行く方が良かったり、泣いている子がいたらすぐに気付いてそっと隣に座ったり。子ども達は、友達のことを考えて行動できる、優しくて頼もしい姿に成長しています。

いよいよ2歳ピコ組。次はどんな世界が広がるのかな。  
大好きな仲間たちと過ごすこれからは、ますます楽しみです!

～みんな大きくなったね～

# pico 2

ピコ組での生活も、残り一か月となりました。子ども達も、進級への期待が高まっているように思います。思い返せば1年前、2歳ピコ組に進級し喜んでいて子ども達。朝の仕度や着替えては、「出来ない」「やって！」と言っていた身の回りの事も、今では自分たちでやろうとする姿に、気持ちが伝わってきます。園外や園内でも、一度遊び始めたら「帰りたくない」「まだ遊んでたい!」「ヤダヤダ!」と、沢山のヤダヤダさんがいました。最初は、1人で遊ぶ事に夢中になっていた子どもも、少しずつ“友だちと一緒に楽しい!”と感じ、友だちとの関りが広がりました。



自己主張が多かった子ども達も、「後で貸してね～」  
「いいよ～」「ありがとう」などの会話も聞こえてくるようになりました。成長を感じ嬉しい気持ちになります。

生活発表会に向けて子ども達に読んだ「くもさんおへんじどうしたの?」について、子ども達と内容のやり取りをしてみても、絵本の内容を理解している子が多くて驚きました。劇ごっこでも、子ども達と何度も繰り返し遊んでいく中で、ストーリーを理解し、楽しむ姿が見られました。リハーサルや本番で、年上の友だちに見られる事で「緊張した!」と教えてくれた子もいれば、お母さんやお父さんに見てもらった方が「緊張しなかった!」と言う子もいました。ピコ組さんも、お兄さんお姉さん達に負けないくらい元気にやっている姿が、凄くたくましく見えました。

来年度は、新しい友だちも増えて、ますます成長していくことでしょう。とても楽しみです。



# nano 3

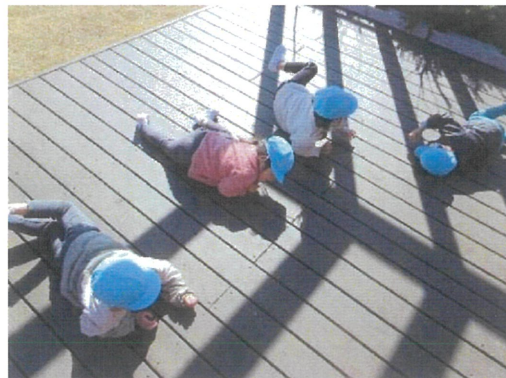


## ～ひとりじゃないって～

「今日は、火曜だから音楽あそび!」「明日、サーキット!」と期待感を持って取り組む姿が見られます。音楽あそびでは、楽器以外にも、ボールやフープなども使いました。みんなで大きな輪になりリズムに合わせ、ボールを回すことは、自分だけのタイミングだけでは、上手くいきません。「〇〇くん来たよ!」「あっちだよ!」と互いに自然と声をかけ合う事で、やっとボールは回っていきます。こうして、音に誘われ息を合わせる事を知っていくのです。運動あそびでも、ペアになってマットを転がり、それもまたひとりの力だけでは、上手く回転しません。お互い相手の様子も見ながら“もっとこうしてよ”“ちょっと重たいな～”など触れ合う事で感じた事もあるでしょう。最初は、自分の事だけでいっぱいだった子ども達も、他者への意識や周囲を見る余裕もでき、ひとりじゃないからこそその楽しさや気づきが沢山のようです。

## ～ゴロゴロ鬼ごっこ～

「走るとあぶないよ!」「じゃあ、鬼ごっこやめる?」と少し喧嘩ごしのやりとりが聞こえる屋上園庭。さあ、どうするのでしょうか。そっと離れて見守っていると……ウッドデッキに横になり「きた～!にげろ～!」とゴロゴロと回転しながら盛り上がる声。「これって、ゴロゴロ鬼ごっこってことね!」と新しいあそびが生まれた瞬間でした。自分達で問題を解決する力も、どんどん芽生えています。また、大きくなったとは言えまだまだ幼い子ども達が、色々な約束や環境の中で、こんなにも素直に柔軟で豊かな発想を持って育ちつつあり、嬉しく思います。



## ～やってあげる喜び～

「先生、やって～」とお願いの声に「ぼくがやってあげる」と頼もしい声。紙飛行機の折り方を友達に教えながら、「やってみないとできるようにならないからね!」と得意げな可愛い小さな先生。

玄関では、1歳アート組さんと一緒になると、サッと寄り添って靴を履かせてあげようと優しい姿。これまで、自分たちが大人からしてもらっていた事を、今度は、友達にしているのです。



自分が大切にしてもらった経験があるからこそ、自然と人に優しくでき、人に教える事は、自信に繋がっていくでしょう。こんなに素敵に成長している3歳ナノ組です。





# nano 4

## みんながいれば ここがいちばんさ！

みんなで作り上げた4歳ナノ組オリジナルの“ブレーメンの音楽隊”。おかげさまで無事に本番を迎えることができました。子ども達も家族に観てもらえることを励みに頑張ってきました。

題材が決まり、子ども達と登場人物を考えました。セリフや踊りも一緒にやってみては直してを繰り返して出来上がりました。みんなとても意欲的で、劇をやる時は自ら役のお面や耳をつけて集まります。セリフは恥ずかしいと言っていた子ども達も日に日に大きい声でセリフが言えるようになりました。それぞれの動物のポーズやダンスもどんどんかっこよくなってきて、毎回楽しそうに取り組んでいました。運動会と同様、“できた”“できない”ではなく、子ども達自身が選択し、好きなことや得意なことを発揮できたり、ちょっと苦手な事にも挑戦する場になったのではないかと思います。

本番では堂々とした子ども達の姿に驚きと感動をもらいました。成長したからこそ味わう緊張と不安、言葉にならない気持ちと葛藤する姿も見られましたが、色々な感情を抱きながらも乗り越えた子どもたちの顔はキラキラしていて、自信に満ち溢れていました。



4歳ナノ組としての生活も残り一か月となりました。この一年で心も体も一回りも二回りも成長したように感じます。

自分の気持ちが伝えられなかったり、友だちと思いが食い違ったりすることも多かったです。しかし、その中で我慢したり、悔しい思いをしたり、気持ちが通じ合ったり、譲ってもらって嬉しい気持ちを味わったりと、様々な感情を経験しました。この経験から相手の気持ちを考えたり、思いやりの気持ちが育まれてきたのではないかと思います。



行事ではやり遂げる達成感や、友だちと協力し合う喜びも味わい、友だちとの絆も深まった一年になりました。もうすぐ憧れの5歳ナノ組です。子ども達が進級した時にどんな成長が見られるのか楽しみにしながら、残り少ない時間を大切に過ごしたいと思います。保護者の皆様には、たくさんのご理解とご協力ありがとうございました。

# nano 5



## ナイスアイデア!

「馬車を作ろう!」と子ども達から提案がありました。どうやって作るのかを話し合っていると、「段ボールで作る。」「音を使う。」「紙に描く。」等のアイデアが浮かびます。大きな段ボールが見つからず困っていたところ、茶色の布を見たKくんが、「こうやれば耳になるよ。」と布の2か所を両手でつまみました。耳を表現するだけで馬に見えてビックリ!手描きの目もチャームングです。手綱を付けると今にも走り出しそうな馬が完成しました。

劇のいたるところに子ども達のアイデアが活かされています。考え、工夫し、やってみる。そんなことが出来るまでに成長したのですね。



## 何をしているの?

紅葉山公園でたくさんの鳩を見つけました。

「鳩は何をしているのだろうか?」と聞いてみると、「卵を温めている。」「会議をしている。」「寒いから集まっている。」「ひなたぼっこをしている。」等の意見が出ました。

「先生は答えを知ってるの?」今度は子ども達からの質問です。「実は、先生も鳩の気持ちまでは分からないのよ。」そう答えると、どっと笑いが起こりました。

子ども達の意見を聞いていたら、もしかしたらひなたぼっこをしながら会議をしている鳩もいるのかもしれないと思えてきたのです。子ども達と同じ目線に立つとユーモアあふれる世界が広がっています。



## いいね!

アート展で作ったアルテの塔を見て、「お城に使いそうだね」と目を輝かせました。劇では、王様、魔王、カラバ侯爵の3つのお城が登場します。2つのアルテの塔をどうやって3つのお城にするのかも、子ども達が考えました。

自分の考えを伝え、友だちの意見にも「いいね!」と共感できる姿が素敵です。

いよいよ3月です。ピカイチのパワーを持った子ども達です。卒園式と発表会の2つもきっとやり遂げてくれるでしょう!

## ケンカするほど仲が良かったね

Yさんが「友だちは宝なの。」とつぶやきました。友だちのことを宝と思えるのっていいですね。

子ども達はこの一年でたくさんのケンカをしました。友だちが嫌いだからケンカしたのかな? いえいえ、ケンカをするのは一緒に関わっている証拠。一人で遊んでいてもケンカにはなりません。ケンカのたびに話し合っ解決してきたので、相手の気持ちを受け止めたり素直になったりすることもたくさん経験しました。そんな経験も友だちがいたからこそです。Yさんが言うように友だちは宝ですね! 保育園生活は残りひと月となりました。子どもも大人もたくさん笑って、たくさん思い出をつくりましょうね!

# ほけんだより



少しずつ暖かくなり始め、柔らかな春の日差しを感じるようになりました。1年間大きなケガや病気もなく過ごすことができましたか？まだまだコロナウイルスに注意が必要です。引き続き感染対策を行い、新年度も元気に登園できるように準備していきましょう！

## 新年度に向けて生活を見直そう！

### 【食事】

#### 朝ごはんは・・・

体にエネルギーと栄養を与え、脳の動きを活発にしてくれる。

体温を上げて体の目覚めを良くしてくれる。

朝ごはんはしっかりとって登園しましょう！



### 【睡眠】

睡眠は一日中使っていた脳と体の疲労を取り除き、病気やケガをした時には治す力を高め、回復を早めてくれます。

#### 睡眠が足りないと・・・

食欲がなくなる、集中力がなく一日中ボーッとしている、あくびばかりしている、イライラ・不機嫌と生活リズムの崩れを招きます。

睡眠不足が続くと免疫力が低下し病気にかかりやすくなります。

十分な睡眠がとれるように環境を整えてあげましょう！



## 3月3日は… 耳の日

なぜ3月3日が耳の日なの？

それは3の形が耳に似ているからだと言われていました。子どもの耳は構造上、中耳炎などの病気になりやすいため日頃から気を付けるようにしましょう。

### ▽大切な耳を守るために気を付けたいこと

- 鼻をすすらず、かむ習慣をつける
- 鼻水はゆっくりと片方ずつかむ
- 耳の近くで大きな声や音を出さない

## 3月の予定

発育測定 3月 8日(火)

0歳児健診 3月 3日(木)

3月30日(水)

※新型コロナウイルス感染症に関して情報提供がある場合は随時、掲示を貼り出しますのでご確認ください。

# Lunch & Snack time

## 食育だより

寒さが和らいで春の気配を感じ始める3月。今年度も残り1か月となりました。卒園・進級に向けての準備など慌ただしくなりますが、充実した園生活が元気に続けられるように「楽しく食べる」を大切にしたいですね。



### 【3月の献立・行事食】

3/3 (木) ひな祭り [昼食] ちらし寿司・炒り鶏・菜の花のすまし汁・いちご

3/10 (木) 卒園祝い [昼食] 菜の花ご飯・かじきの竜田揚げ・春キャベツのサラダ・みそ汁・フルーツポンチ

3/25 (金) お誕生日会 [昼食] 赤飯・つくね焼き・三色なます [おやつ] お誕生日ケーキ

3/30 (水) リクエストメニュー [昼食] ご飯・タンドリーチキン・小松菜の納豆和え・フルーツポンチ [おやつ] おからドーナッツ

### 今が旬！

菜の花・ひじき  
春キャベツ  
はっさく・いちご

### リクエストメニュー

5歳からのリクエストを受けて、メニューを決定しました。今までの給食で思い出に残っているもの、また食べたいと思うもの、好きな献立などをみんなでいただきます。リクエストには、カレーライス・鶏のから揚げ・ポテトチップス・きつねうどん・鶏肉のコーンフレーク焼きなどもありました。随所に取り入れているのでお楽しみに！



## 1年間の食事を 振り返りましょう

この1年を通して、たくさんの旬のものをいただきました。春は、菜の花や春キャベツ、夏はトマトやピーマン、すいかにとろもろこし、秋はくりやかき、さつまいも、冬は白菜に大根…アルテの畑で収穫したのものもあります。旬の味を知ること、それぞれの食材が持つおいしさ伝えることができたと思います。ご家庭でも、楽しく食べているか？三食の食事のバランスや食事のマナーは守れていたかなど、1年間の食事を振り返ってみましょう。

### 大切にしたい食生活

「楽しく食べる」こと  
「いただきます」と「ごちそうさま」  
の感謝の気持ちを育てること

みなさんは、「楽しく食べる」ってどんな場面を想像しますか？

5歳ナノ組さんが屋上のレモンを収穫して食べました。

「レモンはどっち向きになっている？」みんな揃って「したむき～！」あれあれ？？屋上にまだレモンが残っているから、確認してみました。



大豆がテーマの2月の給食。おやつ「おからドーナッツ」に使用したおからを袋の上から触ったり、臭いをかいだり。「ねんどみたい！」「おからってなあに？」「おとうふのにおいがする！」ほとんどの子どもが初めての体験。おからドーナッツは大人気！あっという間に完食していました。

自立とは、二人でいて一人でいられる能力。

( ドナルド・W・ウィニコット 小児科医 精神科医 精神分析家 1896~1971 )

# Atelier



## 「一人でいられる能力」

5歳ナノ組の6人の子ども達が、アトリエにやって来ました。月末の誕生会に使うケーキを作るためです。

今月は先月作った「12人の小人とレインボーのお家」のケーキを土台に、6人一人一人が思い描く世界をさらに広げていきました。

Kくんは紙筒を使って、上半分は透明で空を眺められるウォーター 슬라이ダーをカーブさせるのに苦戦していました。Sさんはブラックホール作りの経験を活かし、粉絵の具で色をつけた綿と色紙を使ってお花を作りました。Cさんはレインボーカラーのお家の二階のさらに上にあるロフトに届くようなハシゴを作りました。Yさんは、そのお家にオシャレな模様の窓とドアをつけました。KくんとHくんは一緒にプールを作り、Kくんはさらにスズランテープで作った川と滝をウォーター 슬라이ダーと合体させました。



子ども達は私の存在など関係なく、自分のやりたいことをどんどん自分の力で実現していきました。そして、それぞれに違うことをやりながらも互いの様子をよく見ており、「それスゴイね!」「いい感じだね」と声をかけ合う姿もありました。もちろん私に「見て見て」などと言う子は、もういません。

そんな子ども達の会話に耳を傾けていると、とても興味深い話を聞くことができました。



ひとりの子が「上では、今頃みんな遊んでいるよね」(上とは、2階にいる他の子ども達のこと。アトリエは1階。)

そして、こう続けました。「でも、これも遊びだけだね。ケーキ遊び」

それを聞いた子が応えました。「ここは手作りとか作る遊びだけど、上はできているもので遊んでるんだよ」

私はその二人の会話に衝撃を受け、一緒にケーキを作っていたもう一人にもケーキ作りは遊びなのかを尋ねました。すると迷わず「うん、遊びだよ」と。さらに上の遊びとアトリエの遊びのちがいを尋ねると「ちがいは人数。上はみんなで遊んで、ここは作る遊び。一人で作るのもいいよ」と教えてくれました。私は正直、呆気にとられました。

先ず、子ども達がアトリエでの活動を明快に「遊び」と思っていることを嬉しく思いました。「遊び」が子どもにとってどれほど大切であるかは明白で、それは時には食事よりも優先される程です。また子ども達が様々な「遊びの本質」を理解し、言語化までしているということにも驚きました。



以前のアトリエだよりでも触れた「1+1のあそび」と「0から1を生み出すあそび」の違いを、子ども達は誰に教えられる事もなくしっかりと感じ取っていました。

子どもの成長には様々な経験が必要なことは言うまでもありません。アトリエが、子ども達の主体性を存分に発揮できる環境で

なければならないことを、「これも遊び」という言葉が改めて気付かせてくれました。

さらに「一人で作るのもいいよ」という言葉に子どもの自立の姿を実感し、冒頭の「一人でいられる能力」を思い出しました。少し長くなりますが、ドナルド・W・ウイニコットの言葉をここに引用します。

一人でいられる能力は、誰か他の人がいるところで一人でいたという体験に基づいている。この体験が十分ではない人においては、一人でいられる能力については発達しない。

子どもは親のそばで、次に親から少し離れて一人でいるという満ち足りた時間を過ごしたときに、初めて他者が自分に期待しているものや押しつけようとしているものとは無関係に、本当に自分自身が要求するもの求めるものを見つけ出すことができるという確信をもつようになる。

一人でいられる能力は、このようにして自己発見と自己実現に結びついていき、自分の最も深いところにある要求や感情、衝動の自覚と結びついていく。

したがって一人でいられる能力の発達は、脳がその最良の状態でも機能するためにも、個人が最高の可能性を実現するためにも必要なことである。二人でいるから一人になれる。依存のない自立は孤立にすぎない。

自立とは、二人でいて一人でいられる能力。

5歳ナノ組の子ども達も、間もなく小学生。

1年間の「ケーキ遊び」を通して、子ども達は主体的に活動し、成功や失敗、さらにある時は何もしないことから大切な何かを感じ、それを糧として成長していく姿を見せてくれました。

自立とは「他に頼らず自分の力だけで生きて行くこと」と捉えがちですが、本当は「他者との適度な関係の中で、自分らしくいられること」であることを子ども達は教えてくれました。 (一然)



